

## Pick Up! 在宅介護リスクの予防

地域包括支援センターと居宅介護支援事業所

### INDEX

#### ■先進機器の導入

介護老人保健施設 アゼリア  
シルエット画像で離床をお知らせ

#### ■幸手モデル

東埼玉総合病院  
厚労省老健局職員が視察

#### ■救急ワークステーション

座間総合病院  
平成 28 年 6 月に運用スタート

#### ■地域連携

介護老人保健施設 コスモス  
地域貢献と住民交流

#### 埼玉地区

医 療	東埼玉総合病院 埼玉県幸手市吉野 517-5 TEL:0480-40-1311
	東埼玉総合病院附属 清地クリニック 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 5-1-2 TEL:0480-37-2511
福 祉	特別養護老人ホーム はなみずき 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字茨島 731-1 TEL:0480-37-4165
	居宅介護支援事業所 ケアネット東埼玉こころ 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2 TEL:0480-33-2292
	居宅介護支援事業所 ケアネット東埼玉あゆみ 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2 TEL:0480-33-2838
	訪問看護事業所 JMA 東埼玉訪問看護ステーション 東埼玉総合病院内 埼玉県幸手市吉野 517-5 TEL:0480-53-8471
	訪問介護事業所 ヘルパーネット東埼玉 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2 TEL:0480-31-0561
	福祉用具貸与・販売事業所 ケアレンタル東埼玉 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 5-1-2 TEL:0480-32-2517
	通所介護事業所 デイサービス東埼玉 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2 TEL:0480-34-2063
	通所リハビリテーション事業所 東埼玉総合病院附属清地クリニック 通所リハビリセンター 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 5-1-2 TEL:0480-37-3711
	認可保育所 わかば保育園 埼玉県北葛飾郡杉戸町倉松 700 TEL:0480-34-8474

#### 横浜地区

福 祉	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 介護老人保健施設 コスモス 神奈川県横浜市磯子区滝頭 1-2-1 TEL:045-751-4165
	居宅介護支援事業所 ケアネット磯子 介護老人保健施設 コスモス内 神奈川県横浜市磯子区滝頭 1-2-1 TEL:045-750-0086

#### 静岡地区

医 療	下田メディカルセンター 静岡県下田市 6-4-10 TEL:0558-25-2525
	下田メディカルセンター附属 みなとクリニック 静岡県加茂郡南伊豆町湊 674 TEL:0558-62-0005
	しらはまクリニック 静岡県下田市白浜 1528-2 TEL:0558-27-3700
福 祉	介護老人保健施設 なぎさ園 静岡県加茂郡南伊豆町湊 674 TEL:0558-62-6800

「あさがお」2016 年<vol.13>  
発行日：2016 年 9 月

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス  
神奈川県海老名市河原口 1519 海老名メディカルサポートクリニック内  
本部広報部 TEL:046-235-0765

#### 海老名・座間地区

医 療	海老名総合病院 神奈川県海老名市河原口 1320 TEL:046-233-1311
	座間総合病院 神奈川県座間市相武台 1-50-1 TEL:046-251-1311
福 祉	海老名メディカルプラザ 神奈川県海老名市中新田 439-1 TEL:046-292-0222
	海老名メディカルサポートクリニック 神奈川県海老名市河原口 1519 TEL:046-235-1311
	海老名ケアサポートセンター 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-232-0606
	今里クリニック 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-232-8222
	ヘルスサポートセンター 海老名メディカルサポートクリニック内 神奈川県海老名市河原口 1519 TEL:046-292-1311
	介護老人保健施設 アゼリア 神奈川県海老名市河原口 1357-1 TEL:046-231-1311
	特別養護老人ホーム さつき 神奈川県海老名市河原口 1383 TEL:046-232-1318
	特別養護老人ホーム シェ・モア 神奈川県海老名市河原口 1581 TEL:046-236-1318
	特別養護老人ホーム 和心 神奈川県海老名市大谷南 3-20-15 TEL:046-236-4165
	特別養護老人ホーム 陽だまり 神奈川県海老名市社家 505 TEL:046-237-4165
福 祉	居宅介護支援事業所 ケアネット海老名第 I 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-292-1540
	居宅介護支援事業所 ケアネット海老名第 II 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-234-7480
	訪問看護事業所 JMA 海老名訪問看護ステーション 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-235-5955
	訪問介護事業所 ヘルパーネット海老名 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-292-3288
	福祉用具貸与・販売・住宅改修事業所 ケアレンタル海老名 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-235-7012
	介護在宅事業所 今里リハビリステーション 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-232-0606
	介護在宅事業所 今里ヘルパーステーション 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-232-0606
	サービス付き高齢者向け住宅 カサボニー海老名 海老名ケアサポートセンター内 神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-232-0606
	地域包括支援センター 海老名東地域包括支援センター 神奈川県海老名市東柏ヶ谷 3-5-1 ウェルストーン相模野102号 TEL:046-292-1411
	地域包括支援センター 海老名中央地域包括支援センター 海老名メディカルサポートクリニック内 神奈川県海老名市河原口 1519 TEL:046-234-2973
保 育	認可保育所 すこやかハウス 神奈川県海老名市河原口 1599-1 TEL:046-234-4152

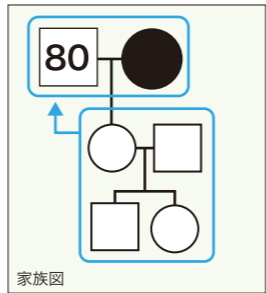
# ケアマネジャーと地域医療 医師の協力が、在宅介護 リスクを予防する

在宅介護において、利用者や家族の生活をアセスメントし、ケアプランを作成するケアマネジャー。介護サービスの事業者だけでなく、在宅ケアで連携する医師や看護師、医療機関との様々な調整も担っています。ときには利用者と医師の橋渡し役として症状や生活課題を具体的に伝えるなど、高齢者の在宅介護においてはとても重要な存在です。

ケアマネジャーは居宅介護支援事業所や地域包括支援センターに所属しています。海老名中央地域包括支援センターの主任ケアマネジャーは「在宅介護で医師との関わりはとても大切です。かかりつけ医や歯科医師、薬局薬剤師が第一発見者となるケースも少なくありません。」と話します。

気になる患者について地域包括支援センターに知らせることで、適切な支援や療養環境の改善につながります。

## ケース B ケアマネの情報を参考に 具体的な意見書を作成



**家族構成**

【本人】80歳代男性  
一人暮らし。認知症の疑い。  
要支援2。  
一人娘は（他県に在住）  
4人家族（は就労）  
子育て、遠距離のため  
介護できない。

### 包括支援センターからの情報提供

現在要介護1だが、家族は「何かあったとき、実家に駆け付けられないから、近隣の施設に来てほしい」と施設入所を希望。「本人は以前より、子育てと仕事をしている娘に負担をかけたくない、いざとなったら施設入所もやむを得ない」と話していた。

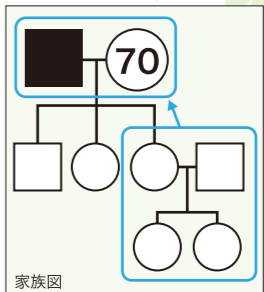
### 主治医の意見書を作成

主治医は「しつかり受け答えができ、自分で通院できているから在宅で問題ない」と考えていた。ところがケアマネジャーからの状況説明で「繰り返し振り込め詐欺の被害に遭い、自分で片付けができずゴミ屋敷になっている」と生活の様子を知った。意見書には「認知症の進行があり、独居生活が難しい」と認知症状による生活課題を具体的に記入した。

### その後

認定審査会では主治医の意見書が重視され、要介護3の認定が下りた。娘や孫も頻りに訪問できる近隣の特別養護老人ホームに入所。体調を心配していた本人も、今は安心して暮らせている。

## ケース A 医師の連絡で 援助が始まった



**家族構成**

【本人】70歳代女性  
一人暮らし。  
夫とは死別。子どもは3人。  
子育て中の長女が  
市内に住む。  
毎月、訪問している。

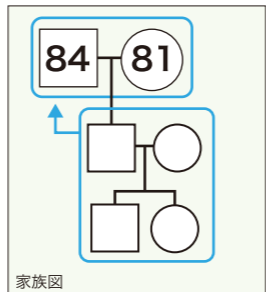
### 医師が包括支援センターに知らせる

かかりつけ医が地域包括支援センターに電話。「患者に高血圧の薬を出しているが、飲めていない様子で、認知症の疑いもある。きちんと生活できていないか心配なので、訪問して生活の様子を確認してほしい」。

### 包括支援センターの対応

電話の翌日、ケアマネジャーと社会福祉士が、「一人暮らしの巡回訪問です」という理由で訪問したところ内服薬が多く、服薬管理が課題と思われた。2回目の訪問に長女も同席。「介護保険の申請と訪問看護の利用」をすすめた。知らせてくれた医師に要介護認定に必要な主治医意見書の記載を依頼。医師が生活の様子や訪問看護サービスで服薬管理してほしい旨を記載し、認定結果は要介護1。今後、認知症専門医に紹介して、画像診断を受けてもらう予定だ。

## ケース C 医師の一言で生活が大きく変化 在宅困難になってしまった



**家族構成**

【夫】認知症。性格はおだやか。下着をときどき汚す。  
ADLは自立。簡単な家事などは手伝える。要介護2。  
【妻】歩行困難、認知症の症状なし。家事はできている。要介護1。

### 老老介護での在宅生活

夫婦で長年、Aクリニックにかかっている。夫は高血圧と心筋梗塞。物忘れがひどく、認知症薬を処方されている。妻は脊柱管狭窄症による腰痛があり歩行器を使っている。夫婦で同じデイサービスを週2回、短時間の訪問介護を週5回（食事準備、服薬管理など）、夕食の配食サービスを毎日利用。夫婦仲は良好。自宅暮らしを続けたいと強く希望していた。

### 生活より症状を重視した結果

医師は老老介護と病状の進行を心配して「2人暮らしは大変。高齢で物忘れもあるから施設に入所した方がいい」とアドバイス。その後、夫婦は介護老人保健施設に入所した。しかし生活環境の変化、夫婦で支え合っていた暮らしでの役割喪失がきっかけで妻に認知症の症状が現れADLが低下。そして生活不活発病（廃用症候群）になってしまった。老老介護の難しいケースだが、担当ケアマネジャーは「医療と介護の在宅チームが協力して支援できていたら本人が希望した在宅生活の継続は可能だったかもしれない」と振り返る。

埼玉地区、海老名地区、横浜地区にある各事業所には、多くのケアマネジャーが在籍しています。是非、お気軽にお問い合わせください。



居宅介護支援事業所  
ケアネット東埼玉こころ  
TEL.0480-33-2292  
〒345-0025 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2  
ケアネット東埼玉あゆみ  
TEL.0480-33-2838  
〒345-0025 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2



居宅介護支援事業所  
ケアネット海老名第 I  
TEL.046-292-1540  
〒243-0423 神奈川県海老名市今里 1-10-12  
ケアネット海老名第 II  
TEL.046-234-7480  
〒243-0423 神奈川県海老名市今里 1-10-12



居宅介護支援事業所  
ケアネット磯子  
TEL.045-750-0086  
〒235-0012 神奈川県横浜市磯子区滝頭 1-2-1

地域包括支援センター  
海老名中央地域包括支援センター  
TEL.046-234-2973  
〒243-0433 神奈川県海老名市河原口 1519  
海老名東地域包括支援センター  
TEL.046-292-1411  
〒243-0401 神奈川県海老名市東柏ヶ谷 3-5-1 ウェルストーン相模野102号

シルエット画像で見守る

センサーがベッド上の四角いスペースを認識。その範囲からはみ出るような動作を自動認識して iPod などのモバイル端末に通知します。画像をシルエット化するのは、個人情報保護に配慮するための工夫です。居室に駆け付けなくても、寝返りと離床を判断できるので、眠りを阻害することなく安全を担保できます。また通常のセンサー利用時にあった駆け付け介助の業務を効率化できました。



起き上がり

ベッドから起き上がった様子をモバイル端末で確認。寝返りなどであれば、画面で様子を見守ります。



はみ出し

顔や手足がベッドのスペースからはみ出たとき、シルエット画像で通知します。転落の可能性があれば駆け付けます。



離床

ベッドから離れたとき知らせます。実際の様子をモニターできるため転倒のリスクがあるときは、いち早く駆け付けられます。



iPod などのモバイル端末で画像を確認

職員は携帯している端末でシルエット画像を確認。複数の居室をモニターできるので、職員数の少ない夜勤帯には、不要な駆け付け介助を減らすことで業務の効率化と療養の質向上につながります。



壁掛け式の見守りセンサー

入所者の手が届かない壁上部に取り付けます。一定期間の観察で夜間離床による事故リスクがないと判断できたら、離床リスクの高い方の居室に移すことも可能です。入退所者のある介護老人保健施設に向いている運用方法です。

協力 キング通信工業株式会社



お問い合わせ

介護老人保健施設

アゼリア

TEL.046-231-1311

〒243-0433 神奈川県海老名市河原口 1357-1



interview

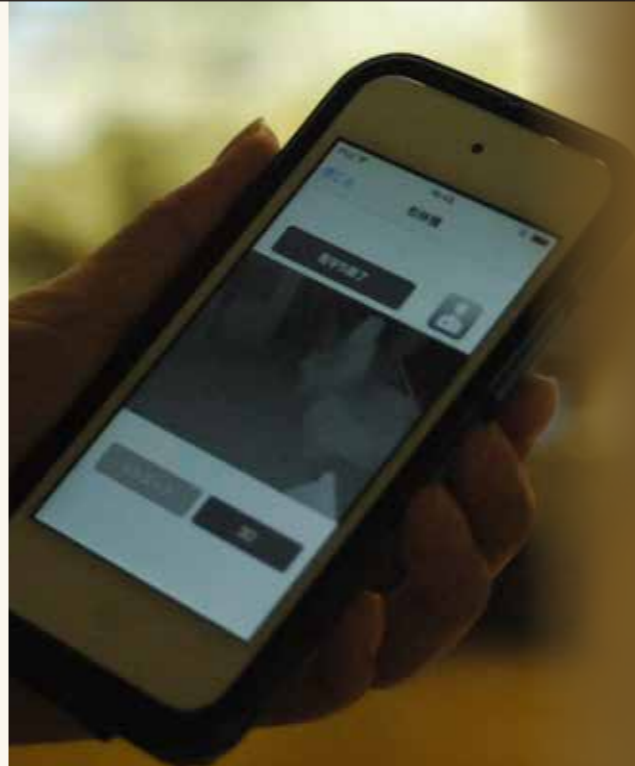
シルエット画像で離床をお知らせ  
先進機器の導入で、  
療養環境の改善と介護の効率化



相川 浩一 理学療法士

平成8年入職。海老名総合病院をはじめ、法人内の複数施設で、理学療法士として急性期リハや生活期リハに携わる。現在は今までの経験を生かし介護老人保健施設アゼリアにて、リハビリテーション科科長と管理部課長を兼務するかたわら、地域活動にも力を注いでいる。

介護老人保健施設アゼリアでは、「業務の効率化と療養の質を高めるため」に、「シルエット見守りセンサー」を1月から導入しています。居室の壁上部のセンサーがベッドからの「起き上がり」「はみ出し」「離床」を検知するとiPod端末に通知。職員は、iPod画面で入所者様の様子を確認して、介助が必要であるか判断します。



リハビリテーション科科長（理学療法士）の相川浩一は、「夜勤帯に8回コールがあったうち、実際に介助が必要だったのは2回のみでした」と運用の様子を話します。介護施設の夜勤職員は多忙ですが、「シルエット見守りセンサー」の導入が業務改善につながっています。入所者様のアセスメントにつながったケースもあります。「眠りが浅く、ベッドの離床センサーが頻繁に鳴る方がいました。その度に職員が駆け付けても、ベッドで寝ています。そこで「シルエット見守りセンサー」を設置したところ、その方は寝られずベッド上で体操をしている様子が画像で確認できました。そして職員が入室すると、横になっていたのです。そのためこのセンサーだけで充分見守りができるとわかりました」

また従来型の離床センサーでは、部屋の様子を確認しなければコールを消せませんでした。「どうしましたか」などと声がけすることに  
なり、それが入眠を妨げているケースもありましたが、「シルエット見守りセンサー」では、入室しなくても様子が確認できるため、療養環境の改善につながっています。リハビリテーションにおける効果も期待できます。「実際に転倒が起こった様子のシルエット画像を自動記録するので、転倒場面転倒の確認ができます。片マヒの方はマヒ側へ転倒するものがセオリーです。ところが健側を骨折される方がいます。そのとき画像があると、転倒原因が分かれます。見過ごしていた課題の発見につながり、訓練の質も向上します」



今後は施設内のリスクマネジメント委員会によるグループワークなどによってその効果を検証していく予定です。「導入によって夜間の転倒が減少するなどの効果を期待しています。夜間の転倒リスクが低減されれば、日中帯の対策に注力できます」  
このように新しい機器の導入では職員研修がその成否を左右します。「操作できるようにしないと、職員には導入した負担感だけが残ってしまいます」  
そのため導入前後にはメーカー社員を招いて、操作研修を実施。現在は新しい機器を使うことの負担感はありません。「職員はうまく使いこなして、もしこのセンサーがなくなると、そのことのほうが夜勤職員の負担になるでしょう」  
今後、導入効果が確認できれば、設置台数を増やしていく予定です。



## 救急 ワークステーション 運用スタート

今年4月に開院した座間総合病院では、6月13日から、座間市消防本部との連携による救急ワークステーションの運用が始まりました。

救急ワークステーションとは、本来消防署などで待機する救急救命士と救急車を病院に常駐させ、通報があれば病院から出動する体制のことです。

当院では、救急救命士を含む救急隊員3名と救急車1台が平日午前9時

から午後5時まで院内に待機し、医師や看護師は最新の医療技術や知識について救急救命士に指導しています。消防本部との連携もスムーズになり、搬送時間の短縮などのメリットが期待されています。現在は、1日2件程度の出動があり、今後はさらに件数が増加すると思われています。

救急救命士からは、「医師から直接指導を受けることにより、救急医療の質の向上を図ることができるとい声がありました。今後、消防本部とさらに関係を深め、地域の救急医療に貢献していきたいと思っています。」



## 地域包括ケアシステム 幸手モデルを 厚労省老健局職員が 視察

東埼玉総合病院に6月17日、厚生労働省老健局の職員が来院し、当院が推進する地域包括ケアシステム「幸手モデル」の取り組みについて、視察しました。

幸手市と北葛北部医師会が実施主体として始めた在宅医療連携拠点「菜のはな」を訪れ、職員や地域住民の方たちと意見交換を行いました。



中野智紀医師が幸手モデルの取り組みを説明、熱心に耳を傾ける厚労省職員

当院は「新しい地域密着型中小病院」を目指し、埼玉県幸手市・杉戸町の近隣医療機関や介護事業所、地域コミュニティなどと連携した医療提供を行っています。

また、行政、医師会からの受託で「菜のはな」を平成25年4月から院内に設置し、懇話会や交流イベントなどを企画するなど、住民主体のまちづくりを支援しています。

「幸手モデル」の取り組みについて、「菜のはな」を担当している中野智紀医師（当院地域糖尿病センターセンター長）は「幸手市では、国策や制度としての地域包括ケアから、住民主体のまちづくりの推進、そしてこれらに取り込まれる

形となるヘルスケアのあるべき姿を模索する取り組みを行っています」と語りました。

視察には厚労省の若手職員10名が参加。中野医師は、支援が必要な住民に対し、「暮らしの保健室」や「URコミュニティ」など多様な主体によるチームでサポートできた事例などを紹介しました。そのなかで、「地域包括ケアシステムには暮らしの視点が重要で、地域レベルでの退院支援も求められています。ただし、専門職が主導するのではなく地域社会の一員として、地域コミュニティの支え手とともに取り組むべきです」と説明しました。

厚労省職員からは「行政として住民との関わりが難しい」「地域の支え手となる人材をどう育てればいいのか」といった声も寄せられ、高齢者が生きがいをもって暮らせるまちづくりの実現に向けて議論を交わしました。

「菜のはな」では、地域の将来を担う地域リーダーの育成や支援にも力を注いでいます。地域での支え合いの担い手となるキーパーソンを「コミュニティデザイナー」と名付けました。現在、ボランティア団体やホテル、カフェ、薬局など住民が集うところで数十名を拝命しています。

視察団一行はコミュニティデ

## 地域との連携について



介護老人保健施設コスモスは、平成19年に指定管理者として運営を開始して以来、介護予防教室や転倒予防教室を定期的に開催し、積極的に地域貢献と住民交流を行ってきました。

昨年度は「横浜市地域リハビリテーション活動支援事業」のモデル事業にも参加し、今年度からは正式な参加要請に応えています。また、地域包括支援センター主催の介護予防事業や、横浜市元気づくりステーション事業へ健康づくりや運動、生活指導等で講師の派遣を行っています。さらにリハビリ

### 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 介護老人保健施設 コスモス

〒235-0012 神奈川県横浜市磯子区滝頭1-2-1  
TEL.045-751-4165



テーション職による地域ケア会議への参加や居宅介護支援専門員・横浜市磯子区保健師・地域包括支援センター職員向けの自立支援マネジメンターの指導など、近隣地域や横浜市が取り組む様々な事業にも関わっています。

今後は、当施設の相談サービス科とリハビリテーション科が中心となり、「地域住民や関連職種からの相談業務」を新たなサービスとして展開する予定です。

また、地域包括ケアシステム推進に向けて、

- ①在宅復帰機能の充実
- ②在宅生活支援機能（通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・短期入所等）の充実
- ③地域支援事業の推進

という当施設の3つの柱を、地域社会の中に形成していこうと取り組んでいます。



いきがいサロンで「特定非営利活動法人すぎとSOHOクラブ」の小川清一理事長と歓談